

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 中学部／教科別の指導：数学

『時間についてよく考え、●時が変わる■分前(後)の時刻を読み取ろう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・中学部2年生男子生徒
- ・路線バスを利用して登校している。自分の腕時計で現在時刻を正しく読むことができる
- ・掛け時計が8時50分を指しているとき、教師から「15分後は何時」と口頭で問われると、掛け時計を見ながら考えた後、「8時5分」と答える

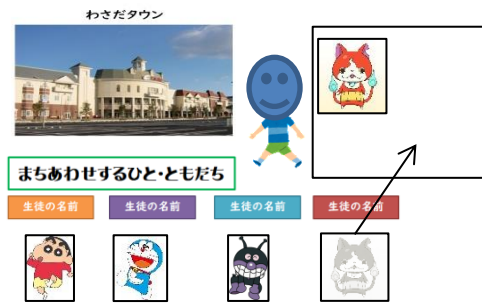
そこで本題では以下の望む姿を設定した

→掛け時計や腕時計を見て■分前(後)を確実に読み取れるようになってほしい

2. 教材の概要 教材：『おでかけゲーム』



- ①自分で好きな場所や待ち合わせする人を決める (6問解く時は、6カ所で6人ずつ選べるようにする)
- ②問いの集合時刻を読む
- ③正解すると、待ち合わせした人のカードをゲットできる

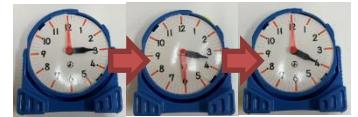


3. 授業のポイント

ポイント1 深く考え、時計の短針と長針の動きに注目するための働きかけの工夫

【短針が長針と同じ方向に動くことを理解するためにはどうすればいいかな？】

- ・模擬時計を操作する場面を増やし、短針の示す位置を確認する
- ・起点の時刻と、■分後に動かした時刻の短針の位置を比較して、長針と同じ方向に動いていることを模擬時計を操作して確認する (■分前も同じように模擬時計を操作をして確認する)



😊 短い針は長い針と同じ方向に動いているね

【●時が変わることに気づくためにはどうすればいいかな？】

- ・1時間(長針が1周すること) = 60分であること、12の表示を長針が通過すると、短針の示す●時が変わることを模擬時計を操作して確認する



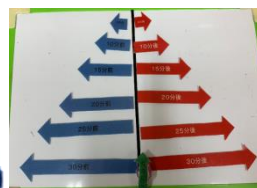
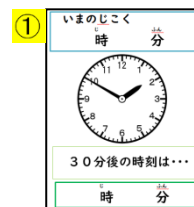
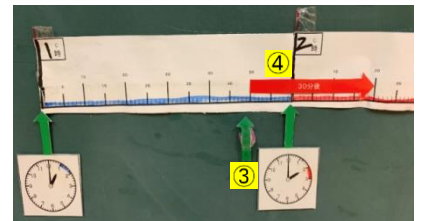
😊 長い針が1周して12になったから短い針は3時から4時が変わるね

授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動について⑮

ポイント2 ○時が変わる仕組みを深く考え、模擬時計と時計数直線の示す時刻が同じことを理解するための工夫

【模擬時計が示す時刻と時計数直線の示す時刻が同じであることを理解するためにはどうしたらいいかな？】

- ・模擬時計を操作して、■分前(後)の時刻の問題 ① を解いた後に、時計数直線を使って、A男が自分で確かめられるようにする
 - 1. プリント問題の起点の時刻を読み、記入する
 2. 模擬時計を操作 ② して、■分前(後)の時刻を読み、記入する (その際、12になったことを強調して確認する)
 3. プリント問題の起点の時刻を時計数直線に矢印 ③ を置く
 4. 時計数直線の■分前(後)の矢印 ④ を操作して、時刻を読む
 5. 模擬時計の時刻と時計数直線の時刻が同じかどうか確認する



授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動について⑯